

令和8年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

小学校教育に関する科目

受験番号	小学校	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 6 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上においてください。
- 5 「退席」の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 小学校「国語」の第2学年「お気に入りの本の大好きなところを友だちにしようかいしよう」の単元において、いろいろな本を読み、お気に入りの本の好きな場面とその理由を友達に紹介する言語活動を設定した。次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 児童が本単元の学習活動に意欲的に取り組めるよう、単元の導入に行う具体的な手立てを書きなさい。

(2) 授業以外でも児童が気軽に本を手にとることができるよう、教師はあらかじめ図書室から本を借りて教室に配置した。その際、文の量が少なくて絵が多く取り入れられている本や、文の量が多い本も用意した。その意図を書きなさい。

(3) 左の【カード】は、本を読み終えた後に児童が大好きな場面とその理由をまとめるためのものである。後の①、②の問いに答えなさい。

【カード】

だい 題名	
めん 大好きな場面	
ゆう その理由	

① 「なんとなく好きだから、何を書いたらよいか分からない」と言っている児童にどのような支援を行うか書きなさい。

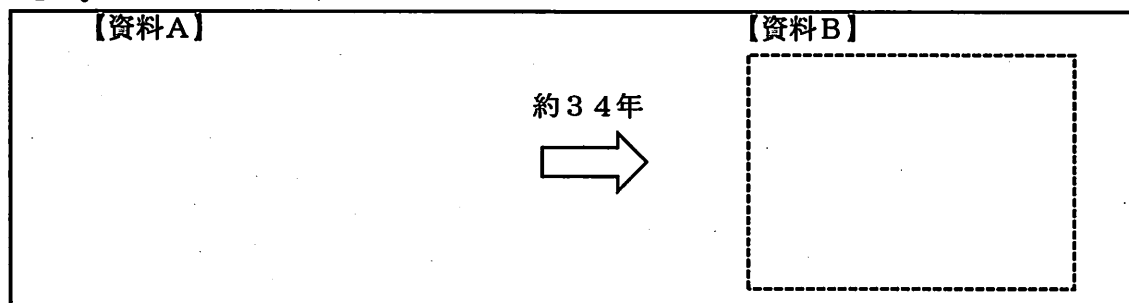
② このカードでは、「題名」の「題」など、「学年別漢字配当表」において第3学年に配当されている漢字を振り仮名付きで示しているが、このように示した教師の意図を「小学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編」の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている漢字に関する事項の取扱いを踏まえて書きなさい。

(4) お気に入りの本について友達に紹介した後、本単元の学習が日常の読書活動につながるよう、単元末に行う活動を書きなさい。

- 2 小学校「社会」の第6学年「歴史と人々の生活」の学習において、明治中・後期から大正期までの指導と評価の計画を次の【資料1】にまとめた。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【資料1】 指導と評価の計画（全6時間）

- (1) 下線(a)について、児童が単元の課題をつかめるよう、教師は次のように【資料A】に並べて【資料B】を提示した。後のア～ウの中から【資料B】として最も適切なものを1つ選び記号で書きなさい。



ア ビゴー「漁夫の利」

イ 鹿鳴館での舞踏会の様子

ウ 国際連盟事務局次長 新渡戸稲造

- (2) 下線(b)の人物が全権となり、1905年に日本とロシアの間に結ばれた条約の名前を書きなさい。
- (3) 下線(c)について、教師はこの人物の活躍を調べる活動を計画した。次の「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」を一部抜粋したものを参考にして、その意図を書きなさい。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
(コ) 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。

- (4) 下線(d)について、教師は年表形式のワークシートを用いた。その意図を書きなさい。
- (5) について、本時における「主体的に学習に取り組む態度」を評価する児童の姿として適切な姿を、簡潔に書きなさい。

3 小学校「算数」について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 第4学年「がい数を使った計算」の学習において、複数の文房具の中からいくつかを購入する場面で、2つの問題に対して概数を用いて見積りを考える活動を計画した。下の【図】は、購入予定の文房具をカードにしたものである。後の①、②の問いに答えなさい。

【図】

①テープのり 185円	②ボールペン 126円	③はさみ 381円	④ノート 145円	⑤色ペンセット 473円	⑥コンパス 290円
----------------	----------------	--------------	--------------	-----------------	---------------

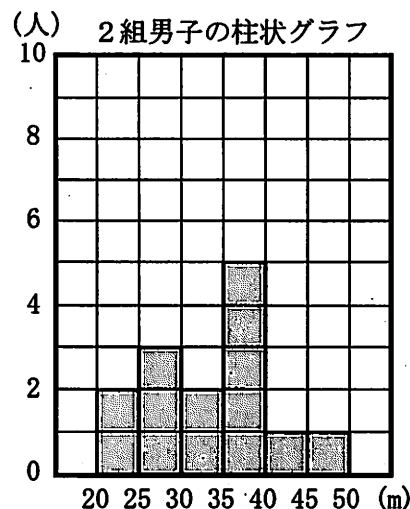
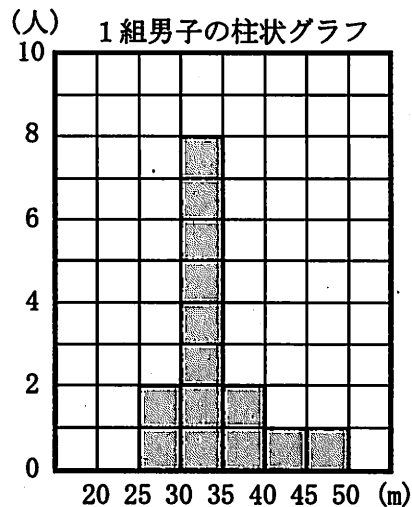
- ① 3つの文房具①、②、③を購入する場面で、1つ目の問題「だいたいいくらかな？」に対して四捨五入を利用した概数を用いて見積りをする活動を行った。その後、3つの文房具④、⑤、⑥を購入する場面で、2つ目の問題「1000円で足りるかな？」を設定した。2つ目の問題に対して、どのように見積りをすればよいか、概数を用いた式を書きなさい。
- ② 概数を用いて見積りをする際に、複数の問題を設定した教師の意図を書きなさい。

- (2) 第6学年「データの活用」の学習において、1組男子14名と2組男子14名のソフトボール投げの記録を比較し、傾向を考察する活動を行った。下の【表】や【グラフ】は児童が考察に用いたデータである。後の①～③の問いに答えなさい。

【表】 男子のソフトボール投げの記録 (m)

1組男子	25	28	30	32	33	33	34	34	34	34	36	38	40	45	平均 34
2組男子	23	24	26	27	27	31	34	35	36	36	36	37	43	47	平均 33

【グラフ】



- ① 児童Aは、【表】から2組男子の平均値以外の代表値を求める過程で、「中央値は36です。」と、誤った解答をした。どのような代表値と間違えたか書きなさい。
- ② 【グラフ】で示したような柱状グラフを用いることのよさを書きなさい。
- ③ 本時において、児童Bは2つの平均値の比較から「1組男子の方が遠くに投げる。」と結論付けた。この後、児童Bが自分の結論の妥当性について考察できるような学習活動を書きなさい。

4 小学校「理科」の第5学年「物の溶け方」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 第5学年「物の溶け方」の単元を学習する際に、食塩やミョウバンといった2種類の溶質を扱う意図を書きなさい。

【図1】

(2) 【図1】のように20℃の水100gが入ったビーカーに36gの食塩を入れて十分にかき混ぜたところ、食塩は完全に水に溶けて見えなくなった。このときの食塩水の質量は何gになるか、書きなさい。

(3) 問題「水に溶けた物を取り出すにはどうすればよいだろうか」について、児童から「水溶液の温度を下げるとよい」、「水溶液の水の量を減らすとよい」という2つの予想が出された。次の①～③の問いに答えなさい。なお、扱う水溶液は全て、飽和水溶液とする。

① 児童Aは「水溶液の温度を下げるとよい」という予想を確かめるために、食塩水やミョウバン水溶液を氷水で冷やす実験（【図2】）を計画した。この実験では「水の温度を下げない（冷やさない）」ものを用意する必要がある。その理由を簡潔に書きなさい。

【図2】

② 児童Bは「水溶液の水の量を減らすとよい」という予想を確かめるために、水溶液を蒸発皿に入れて加熱する実験を計画した。安全上、実験中に児童が必ず着用すべきものを1つ書きなさい。

③ 日常生活や社会において、水溶液の水の量を減らすことで水に溶けた物を取り出す方法が活用されている例を1つ書きなさい。

5 小学校「音楽」の第3学年において、わらべうた「ほたるこい」の冒頭2小節を教材に、ソプラノリコーダーを用いて「A表現（器楽）」の学習を行った。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) Aの階名を書き、リコーダーで押さえる指穴を塗りつぶしなさい。

(2) 旋律を「トゥ」で歌う活動を取り入れた。次の①、②の問いに答えなさい。

① 「トゥ」や「ル」で発音するときのように、舌を使って音を区切ることを何というか書きなさい。

② この活動の目的を書きなさい。

(3) 児童が「音がピーツとなってしまう、きれいに吹けない。」と相談してきた。そのような児童に対して、どのように助言をするか、原因を示して書きなさい。

6 小学校「図画工作」の第1学年において、児童が絵の具を用いて身近なもので紙にスタンプし、友達と写し方を楽しむ「ぺたぺたぺったん」という題材を設定した。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) この題材のように、児童が材料に進んで働きかけ、思いのままに発想や構想を繰り返し、手や体全体の感覚を働かせながら技能などを発揮していく活動を何と言うか、書きなさい。
- (2) この学習活動では、児童が思い付いたことや方法を、自ら試すことができる環境を用意することが重要である。具体的にはどのような環境が考えられるか、書きなさい。
- (3) 活動の最後に「写したものの形や色の面白さや楽しさを感じる」ための振り返りの時間を設けたい。具体的にはどのように振り返りを行うか、書きなさい。

7 小学校「家庭」の第5学年「快適な住まい方」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 整理・整頓について、児童から「整理と整頓はどう違うのか。」と質問があった。「整理」と「整頓」の違いを捉えられるよう、それぞれの意味を書きなさい。
- (2) 自分の文房具を整理・整頓する活動の中で、児童が右のマークを見付けた。このマークの意味を書きなさい。
- (3) 住まいの清掃の仕方について、児童が日常よく使う場所を取り上げることに加え、和室の畳の清掃の仕方も取り上げた教師の意図を書きなさい。

8 小学校「体育」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 第5学年「器械運動」のマット運動において、開脚前転が苦手で、勢いが足りず上体が起きてこない児童がいた。勢いをつけて回転する動きが身に付くような練習の工夫を、具体的に書きなさい。
- (2) 第5学年「器械運動」のマット運動において、ICT機器を活用して、自己の課題を見付ける活動を行いたい。ICT機器の活用の仕方を、具体的に書きなさい。
- (3) 第4学年保健領域「体の成長」「よりよい成長のために」の授業において、展開場面で児童が自分自身の生活を基に考えられるようにしたい。どのような活動を設定するとよいか、具体的に書きなさい。

9 小学校「生活」の第1学年「あきのたからものであそぼう」の単元において、秋の自然物を使っておもちゃを作り、学級の友達や幼稚園児と遊ぶ活動を計画し、実施した。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 単元の導入の過程で、児童が「木の実や落ち葉を使っておもちゃを作りたい」という思いを持てるようにするための具体的な活動を1つ書きなさい。

(2) 児童が作ると想定されるおもちゃを、具体的な秋の自然物を示して2つ書きなさい。

(3) 本単元において、学級の友達だけでなく、幼稚園児と一緒に遊ぶ活動を取り入れた教師の意図を1つ書きなさい。

10 小学校「外国語」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 第6学年「夏休みの思い出を紹介しよう」の単元において、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことなどを発表する活動を設定した。後の①～③の問いに答えなさい。

【授業の導入での教師(T)と児童(Ken, Emi)による夏休みの思い出についての Small Talkの様子】

T: (クラス全体に対して) Did you enjoy your summer vacation?

全員: Yes!

T: I went to Okinawa. It was fun!

Where did you go, Ken?

Ken: ABC park.

T: Oh, you went to ABC park. Was it fun?

Ken: Yes. Fun!

T: Oh, it was fun. You enjoyed the amusement park. Good!

ア , Emi?

Emi: I went to Okinawa. It was fun.

T: イ . You went to Okinawa, too.

OK, please talk about your summer vacation.

① 対話が成立するように、 ア に入る適切な表現を、3語で書きなさい。

② イ には、Emi が話した内容に対して、教師が感想を伝える際の表現が入る。2語で書きなさい。

③ Ken とのやり取りの中で、下線部のように文で伝えた教師の意図を1つ書きなさい。

(2) Small Talk を行う意図を1つ書きなさい。

(3) 外国語の授業において、ALT等のネイティブスピーカーや外国語が堪能な人を活用する意図を1つ書きなさい。

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の1	受験 番号	小学校	氏 名		※
-------------------------	-------	----------	-----	--------	--	---

(8年)

※欄には記入しないこと

1	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)	①						※
		②						※
	(4)					※		
2	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)					※		
	(4)					※		
	(5)					※		
3	(1)	①					※	※
		②					※	
	(2)	①					※	
		②					※	
		③					※	
4	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)	①						※
		②						※
		③						※

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	小学校	氏 名		※
-------------------------	---------	----------	-----	--------	--	---

(8 年)

※欄には記入しないこと

5	(1)	階 名		運 指		※	※
	(2)	①				※	
		②				※	
	(3)					※	
6	(1)					※	※
	(2)					※	
	(3)					※	
7	(1)	整 理				※	※
		整 頓				※	
	(2)					※	
	(3)					※	
8	(1)					※	※
	(2)					※	
	(3)					※	
9	(1)					※	※
	(2)					※	
						※	
	(3)					※	
10	(1)	①				※	※
		②				※	
		③				※	
	(2)					※	
	(3)					※	

以下はあくまでも解答の一例です

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の1	受験 番号	小学校	氏 名		※
-------------------------	-------	----------	-----	--------	--	---

(8年)

※欄には記入しないこと

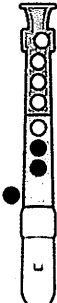
1	(1)	・教師がお気に入りの本を紹介してモデルを示す。 ・児童がこれまで読んできた本を伝え合う場を設定する。 など (6点)		※	※
	(2)	・一人一人の発達や学習の状況に応じて選ぶことができるようにするため。 など (6点)		※	
	(3)	①	・「だれが出てきたの」「どんなお話だったの」などと問いかけながら、児童と一緒にその場面や好きな理由について確認する。 ・同じ本を選んだ児童の大好きな場面や理由を聞いて参考にするよう促す。 など (6点)	※	
		②	・読む機会を増やし、その漢字に慣れることで、児童の漢字の習得に資することができるようにするため。 ・必要以上に交ぜ書きをしないことにより、語句の意味に対する児童の理解が一層促進されるようにするため。 など (6点)	※	
	(4)	・友達を紹介を聞いて、読みたくなった本の題名を書く。 ・紹介を聞いて、読みたくなった本を読む。 ・教室内に掲示した紹介カードを見合う。 など (6点)		※	
2	(1)	ウ (5点)		※	※
	(2)	ポーツマス条約 (5点)		※	
	(3)	科学の発展の側面から、我が国の国力が充実したことについて考察できるようにするため。 など (5点)		※	
	(4)	時期や時間の経過に着目して、事象を相互に関連付けることができるようにするため。 など (5点)		※	
	(5)	予想や学習計画を立て、解決の見通しを持っているか。 など (5点)		※	
3	(1)	①	200+500+300=1000 又は 150+480+290=920 (6点)	※	※
		②	・目的に応じた概数を使って見積もることができるようにするため。 ・概数を用いることで、より能率的に処理できることに気付くなど、概数を用いることのよさを実感させるため。 など (6点)	※	
	(2)	①	最頻値 (6点)	※	
		②	・データの分布の様子が分かること。 ・全体の散らばり具合が分かること。 など (6点)	※	
		③	・他の代表値や柱状グラフを用いて、自分の結論を別の観点から考えて検討する活動 ・自分の結論について、批判的に考察する活動 など (6点)	※	
4	(1)	溶質の違いによって、水に溶ける量の違いを観察できるようにするため。 など (5点)		※	※
	(2)	1 3 6 g (5点)		※	
	(3)	①	水の温度を下げたものと下げないものを比較して、温度を下げたことで結果が得られたことを確かめられるようにするため。 など (5点)	※	
		②	保護眼鏡 など (5点)	※	
		③	海水から食塩を得る など (5点)	※	

以下はあくまでも解答の一例です

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	小学校	氏 名	※
-------------------------	-------	----------	-----	--------	---

(8年)

※欄には記入しないこと

5	(1)	階 名	ラ	(2点)	運 指	(3点)	※	※
	(2)	①	タンギング	(3点)			※	
		②	・曲（旋律）の感じ（雰囲気）をつかんで演奏するため。 ・曲の感じや流れに沿ったタンギングを習得するため。 など	(3点)			※	
	(3)		・息が必要以上に強いことが考えられるので、息をまっすぐやさしく入れてみるよう助言する。 ・息がまっすぐに入っていないことが考えられるので、例えば大きなシャボン玉をつくるように、息をまっすぐに出してみるよう助言する。 ・タンギングが強すぎるので、丁寧なタンギングをするように助言する。など	(4点)			※	
6	(1)		造形遊び	(5点)			※	※
	(2)		・インクごとに分けたトレイを複数設置する。 ・大きな紙を広げられる場所を使えるようにする。 など	(5点)			※	
	(3)		・見付けた形や色のことを話したり聞いたりする場面を設ける。 ・形や色からどのようなイメージをもったのか、交流する場を設ける。 など	(5点)			※	
7	(1)	整 理	物をどのように使うか考え、使う目的や使い方によって分け、必要な物を残すこと など	(2点)			※	※
		整 頓	整理した物を使いやすく片付けること など	(2点)			※	
	(2)		原料に、規定の割合以上の古紙を使用している商品 など	(3点)			※	
	(3)		日本の生活文化に気付くことができるようにするため。 など	(3点)			※	
8	(1)		・マットに傾斜を付けて開脚前転の練習を行う。 ・マットを折って、マットをまたいだ開脚前転の練習を行う。 など	(5点)			※	※
	(2)		・学習者用端末等で、自己の動きを照らし合わせる。 ・自己の動きを撮影し、ゆっくり再生して、動きのポイントを確認する。 など	(5点)			※	
	(3)		・自分自身の生活を振り返るアンケートを実施し、実施結果を基にグループで話し合う活動 など	(5点)			※	
9	(1)		・秋探しに出かけて、木の実や落ち葉で遊ぶ活動 ・教師が作ったおもちゃを参考に、試し遊びをする活動 ・幼稚園等の時に、作ったおもちゃで遊んだ経験を発表し合う活動 など	(3点)			※	※
	(2)		・松ぼっくりで作ったけん玉 ・ドングリの中に入れたマラカス ・葉っぱを魚に見立てた魚釣り などから2つ	(4点)			※	
	(3)		・身近な幼児など多様な人々と触れ合うことにより、他者を尊重する態度を育むため。 ・実際に触れ合い、一緒に活動することで、相手意識を持ち、一緒に活動することのよさに気付くことができるようにするため。 など	(3点)			※	
10	(1)	①	How about you	(5点)			※	※
		②	That's nice (good, great) など	(5点)			※	
		③	・やり取りが継続するための表現の使い方のモデルを提示するため。 ・話したいことが伝わったという実感を児童がもてるようにするため。 など	(5点)			※	
	(2)		・既習表現を繰り返し使用して定着を図るため。 ・対話を続けるための基本的な表現の定着を図るため。 など	(5点)			※	
	(3)		・標準的な外国語の音声に接し、正確な発音を習得できるようにするため。 ・児童が外国語に触れる機会を充実させるため。 ・授業を実際のコミュニケーションの場面とするため。 など	(5点)			※	